

会議録（１）

会議の名称	第５回飯能市地域公共交通対策協議会
開催日時	平成２６年３月２６日（水） 開会 １７時００分 閉会 １７時５０分
開催場所	飯能市役所 別館 ２階会議室
会長氏名	大久保 勝
座長氏名	吉田 樹
出席委員	大久保 勝、吉田 樹、鈴木 弘之、関根 康洋、堀米 康史、倉掛 正昭、鶴岡 洋、早野 文二、石井 平八、石井 克己、真野 綾子、村松 守夫、馬場 才次郎、新井 貞市、中川 淳、倉掛 泰明、浅見 淳二、田中 雅夫
欠席委員	高山 和征
説明者の職氏名	飯能市市民生活部長 嶋田 斎 飯能市市民生活部交通政策担当主幹 西島 正樹 飯能市市民生活部交通政策担当主査 山岸 豊
傍聴者の数	２名
会議次第	別紙の通り
配布資料	別紙の通り
事務局職員職氏名	飯能市市民生活部長 嶋田 斎 飯能市市民生活部交通政策担当主幹 西島 正樹 飯能市市民生活部交通政策担当主査 山岸 豊

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

（１）飯能市地域公共交通基本計画について

資料に基づき説明を行い、委員から意見を求めた。意見に基づき修正することとし、計画の内容については承認された。

（２）その他

策定された基本計画の進行管理、協議会の継続、および市役所内の組織の見直し、委員の任期等について報告を行った。

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p><開会></p> <p>年度末を向かえましてお忙しい中、各委員の皆様にはご出席賜りまして、本当にありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から、第5回飯能市地域公共交通対策協議会を開催させていただきます。</p> <p>私は本日の進行を務めさせていただきます市民生活部長の嶋田と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>本日の会議につきましては、事務局の都合によりまして、午後5時からの開催とさせていただきます。これまでと異なる開催時間となりました事、ご迷惑をお掛けしたかと思えます。お詫びを申し上げます。</p> <p>それでははじめにご報告を申し上げます。</p> <p>関東運輸局埼玉運輸支局の高山委員から欠席の連絡を頂いております。</p> <p>また都合により遅くなるとの連絡を石井克己委員からいただいております。</p> <p>この他、こういった開催時間でありましてご都合によりまして途中で退席をされる方もいらっしゃるかもしれませんが、ご容赦いただきたいと思います。</p> <p>なお、この協議会につきましては、広く市民に周知していく必要がありますので、公開することとしております。そのようなことから、傍聴者が入室しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、次第に沿いまして協議会を進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、会長の久保市長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p><あいさつ></p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>今、事務局の方から5時からの開催という事で、大変お忙しい中をご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>2月には記録的な大雪、そしてまた歴史的な大雪、春が来ない、そのような感もしたところでございますが、やはり春は必ず来るという事でございます。</p> <p>飯能市もずっと晴れているような政務をしていきたいと思っているところです。そんな中で、本日は地域公共交通協議会という事で皆さんには活発なご意見をいただきたいというように思っているところです。</p> <p>そしてまた、私は常日頃思っている事がございます。それは公共交通機関が、自分の通っているところが関係ないという事では私はないと思っています。そ</p>

	<p>これはバス路線が廃止とか乗っていないとかという事自体は飯能市の勢いがなくなると私は位置づけているところでございます。そして、衰退のイメージ、飯能市ってなんかさびしいねというイメージになってしまうと思います。わが路線、わが道だけをバス路線がという事ではなく飯能市全体のイメージが、私は悪くなると思っています。そのためにもある意味、公共交通の位置づけというのは大変重要な事であると思っています。また観光、そして経済の活性化にも間違いなく寄与していただいているところでございます。全てが良くならなくてははいけないと思います。バス路線のみならず飯能市内のためにも市民のためにもバス路線、また公共交通対策というのは非常に、私の掲げておりますはんじょう市のためにも必要不可欠なものと思います。</p> <p>ぜひ皆さんにはこれからも忌憚のないご意見をいただき、そしてまた飯能市のために、そしてまた公共交通機関の営業している方のためにも私はぜひ応援していただきたいと思っております。</p> <p>私は常日頃申し上げております。民間の繁栄は飯能市の繁栄というふうに常日頃思っております。公共交通機関の繁栄は人口の増、そしてまた来街者の増につながると思っております。福祉の面でも年配の方もおられます。どうしても車が運転できない、そんな中でバスという、そしてまた公共交通機関というのは不可欠という事を再度申し上げ、これからもぜひ皆さんのお力をいただきまして素晴らしい飯能市になりますよう心からお願い申し上げ、今日の会議が無事、慎重かつスムーズに行われるよう、心からお願い申し上げまして、私からの皆さんへの御礼とお願いの挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に移らせていただきます。議事の進行につきましては、本協議会の座長であります吉田先生にお願いいたします。</p> <p>先生、よろしくお願いいたします。</p>
座長	<p><議事></p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>昨年から含めて第5回目の協議会になります。今日は変則的な時間で、かつ年度末というところで大変ご迷惑をおかけしております。まずもって私の方からもお詫び申し上げたいと思います。</p> <p>その上で、前回の協議会で飯能市の公共交通基本計画についてパブリックコメントまでかけてよろしいですよというところを、一部修正が入りましたが、そこは後ほど事務局よりご説明いただきたいと思っておりますけれども、そういう状態の中で2月15日から3月6日という期間で意見募集期間を設けさせ</p>

事務局	<p>ていただきました。</p> <p>その内容につきまして、それに対する市の考え方あるいは回答につきまして、事務局からご説明いただいて、ご議論いただいた後、最終的に基本計画を確定させていただきたいというところが今日の着地点でございます。</p> <p>それでは、資料1がパブリックコメント、意見募集に関するところになります。その内容、それに対する市の考え方というところでそれぞれ整理いただいていますので、事務局よりご説明をお願いいたします。</p> <p>議事（1）飯能市地域公共交通基本計画（案）に対する意見募集結果について資料に基づき説明させていただきます。</p> <p>着座にて説明させていただきます。</p> <p>（資料説明）</p>
座長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>9人の方から23件のご意見が寄せられたと、その中で計画に関わるということが17件あったということなんですが、これから具体的に検討していく施策そのものに対するご意見が多かったということで、計画そのものの修正は行わないということが今のご報告だったかと思います。</p> <p>それでは、今、ご紹介いただきました基本計画に対しますパブリックコメント、意見募集の結果とそれに対する市の考え方につきまして、皆さんからご意見がございましたらお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>原市場の方と名栗の方の意見が大半という形で、気がついたのですが、結局この公共交通基本計画の6ページなどを見ると、問題は行った先で、例えば鉄道の正丸駅とか東吾野駅とか吾野駅とかのリンクしていないところがちょっと問題なのかなと思ひ、結局、吾野の人たちはかなり孤立している、公共交通という意味では孤立していると思うので、そういうのが解消できるかなと思うので、吾野の人たちの意見が全くないというのは当然なんですけど、例えば子ノ権現さんとか竹寺さんとかを通るルートに、常に1時間に1本くらい鉄道路線の方につながるようなルートを開設するとか、あるいは昔トンネルを掘ろうとかという話もありましたけど、そういうものが逆に必要なのかなと、意見者の顔ぶれをみてなんとなくそれを感じました。打って出るのであれば、鉄道の方と上手く、終点のところをつなげてあげられないのかなと、中沢のところを中継にするとか、そんなことを思いました。</p>
座長	<p>事務局からいかがでしょうか。</p>

事務局	<p>今のご意見につきましては、今後の施策を具体的に検討する中、前回もお話ししましたが基本目標3のところでおでかけ、生活を支える公共交通手段を「つくる」、そちらの中の検討の課題の一つではないかなと考えております。先ほどの説明はあくまでも広く市民に意見募集をした結果の報告ということで捉えていただければと思います。</p>
座長	<p>今の、どの地域の人が回答されているのかというところで、だいぶヒントになるところがあって、今回も原市場の1人の方は性別は書かれていないですが、おそらく女性と推察しますけれども、たぶん問題意識を感じているどなたかがいろいろと声を掛け合っていて、あるいは話し合っている場でみんなで投稿しましょうというような形になっているのだと思います。一方で名栗の方もいらっしゃる。要するに国際興業バスのところでやはり一時間問題になった地域という人はやっぱりこういう計画案だとか施策というところに非常に興味があるのだけれども、今、おっしゃった例えば吾野というところは鉄道はあるのだけれども、なかなかそこからの接続するような交通はない。だから不便ではないかと目されるところに意見がないということは、逆に言うとそのへんのところの課題というところが地域の中でまだ醸成されていないのか、あるいはあきらめている人が多いのか、いろんな要因が考えられます。だから、そういう意味で言うと、やはり飯能市全体の公共交通を良くして、なおかつ利用者の人たちを増やしていくという時は、逆にパブリックコメントがあまり出てこなかったような地域の人たちに、どうやって公共交通に振り向いてもらうのかという仕掛けがつくっていきけるかどうか、どうもヒントになりそうだとこのところが、パブリックコメントをやったところの地区別のところをみていると解釈できるのかという気がします。そういうところで地区別という観点を見ていくと後々役に立ってくるのかなと思います。</p> <p>その他、ご意見いかがでしょうか。</p>
委員	<p>9番目の名栗の男性というのがありますけれども、2の方は極端な話なんですけど、1の方でバスの運行されている進路を変えろというような話なんですけども、確かにこの当時にバス停を決めた時とは人口の分布が変わってきていると思うんです。そういう意味でも、そういうところを見直して停留所の位置を変えるということは大変重要な事だと思うし、名栗の道路を通っていますと停留所がカーブの所にあるという事がだいぶあるんです。それだけでも、だいぶ交通渋滞にもつながることですし、危険ということもあるので、そのへんのところを見直してほしいなと思います。</p>

座長	<p>ありがとうございました。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見、ありがとうございます。こちらにつきましても計画の中で、施策 2-④、25 ページのところにバス路線の見直し等の検討ということ的位置づけております。その中で、また事業者の方々等ともいろいろ検討していきたいと考えているところです。</p>
座長	<p>ありがとうございました。今、いただいたのは非常に大事なところで、25 ページにバス路線の見直しというのが書いてあるわけですが、要するに地域の中をこういうふうに走ってくれたらいいんだよなとご近所でお話ししている事が、なかなかバス事業者さんとか行政の皆さんと話し合っている、例えばこういう会議の場で上がってくるということがあまりないわけです。だから、そういう地域の声というところをいかに会議室のところにあげられるか、どういう形で集約することができるのか。例えば、今回の計画のところにあえて書き込む必要はないのかもしれませんが、検討ということで書いてありますので、春以降、4 月以降考えていけばいいわけですが、私がお手伝いしている宮崎県の都城市で今年、同じような計画を立てた時に 80 歳代と書かれていました女性の方からパブリックコメントでかなり充実したご意見をいただいたのです。目安箱を作ってくれと。要するに地域の人たちがそういうふうにいるんな事、バスで考えているけどもバスの営業所に行って話をすればいいのか、それとも市へ話をすればいいのかというところがわからない、お互いにどういう関係なのかもわからないから、なかなか意見をあげることも出来ないし、あげたとしてもちゃんとした回答がもらえないんだという事があったんですね。だから、都城の連携計画ではそのご意見を踏まえて計画案を一部修正して目安箱を設置しますという事で予算計画書の中に投票箱のようなポスト 1 個 3200 円なんて予算に入っていましたけども、そういう形で皆さんのご意見を聞いて、それを会議室の議論の場に持ち込めるようなスキームというところをこの検討という場面で考えていけるといいのかなと思います。書き込む必要は今の段階ではないと思いますけどもそういう視点も大事なのかなと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員全員	<p>(意見なし)</p>
座長	<p>そう致しましたら、ご提案いただきましたパブリックコメントに対する市の考え方というところを公表させていただくというような形で取り扱わせてい</p>

委員全員	<p>ただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>誤記とかあるいは表現的なところで若干見やすいように修正されるかもしれませんが、基本的にこういう方向でホームページの方に公表させていただきたいというふうに思います。</p> <p>いつぐらいから公表になるのですか。</p>
事務局	<p>来週中には公表できると思います。</p>
座長	<p>はい、わかりました。</p>
座長	<p>それでは議事の２番目というところで基本計画についてというところですか。前回のこの議論の中でも一部加えていただくところ、修正いただくところという事でご意見が出ていたところがあります。その内容につきまして修正を事務局の方でしていただいた上で意見募集という形でかけさせていただいたわけですが、修正点のところを中心に説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>議事（２）飯能市地域公共交通基本計画について、資料に基づき説明させていただきます。</p> <p>(資料説明)</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>用語の説明というところで細かい囲み記事、細かい破線の囲み記事というところが数か所入っているのと、バス乗り方教室が飯能市の例に差し替わったという事、それから 33 ページに基本目標と課題のつながりがわかりやすいように対応の図をつくったというところが大きく変更された点かと思います。</p> <p>後段の参考資料というところは、事実を淡々と記してあるというものですから特に大きな問題はないかと思いますが、お名前に間違いがあったり記述に間違いがあったりするとまずいので、そこは確認しておかないといけないところですが、大きく修正というところは以上だという事の説明だったかと思います。</p> <p>それでは、今、説明いただきました事に関しまして、皆さんからご意見ありましたら、お願いしたいと思います。ご質問でも結構です。</p>

委員	<p>全然大したことではないんですけど、親切にするには、例えば1ページ目の交通政策基本法とはという囲みのところはすみ付きのカッコは法の後に入れてもらって、しかも本文のはじめてこのページの冒頭に出てくるところには※印なりを入れて、ここは下に意味の説明があります的な引用符ですか、※印をつけてあげてほしいと思います。それは全てのページにわたってです。</p>
事務局	<p>はい、わかりました。そのように修正させていただきます。</p>
座長	<p>いちいち注釈を探さないと、というのがありますので、交通政策基本法、よくこの上に※1とかとして、このところも※1として対応が出来るようにしておくということですね。それは読みやすさを増す意味のところがいいと思います。</p> <p>駅端末交通手段とはというところの説明が9ページにありますね。駅端末交通手段とはと書いてありますが、それが書いてあるのは図の主要駅の端末交通手段構成比というところの話になりますので、端末交通手段とはという形で、駅はいらないのかもしれないですね。出来るだけ文章の表現と合わせて書いてあげた方がいいのかなというふうに思います。これは付け加えておきます。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員全員	<p>(意見なし)</p>
座長	<p>内容そのものは前回から大きな変化はありませんので、新しい図表が付け加わっている、33ページの見取り図ということで、それ以外のところは文言のところが中心ですので大きな問題はないかと思えますけども、よろしいでしょうか。</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>
座長	<p>そうしましたら、ご指摘いただきましたところ、用語説明があるところの注釈というところを見やすいように印をつけるなりの微修正を加えさせていただきますが、それ以外のところは大きな変更がないという事で飯能市のこの地域公共交通基本計画をこういう形で策定させていただくという事に関しまして、ご意見ありますでしょうか。</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>

座長	<p>ありがとうございます。それでは一応こういう形で基本計画というところで整えさせていただいたという事にさせていただいて、案件には書いてないんですが、この基本計画を今、策定をいたしました。これはどういう形で公表していくということになりますか。</p>
事務局	<p>基本計画につきましては、最終的にもう一度誤字脱字等の確認をしまして、その後、まず印刷製本にし、各地区行政センター等に閲覧用として、置かせていただきまして、それから市のホームページでも公開いたします。また、委員の皆様には改めて郵送等でお送りしたいと考えております。</p>
座長	<p>それから 32 ページのところ施策の推進体制という事で、いよいよ計画が策定されました。これは法定計画ではありませんけれども策定されましたので具体的に 26 年度から 28 年度の短期と書いてあるところの検討ということを中心これから議論をしていかなければいけないということだと思いますけれども、どこの辺りのところから取りかかるのかとか、あるいはこの会議をいつ、こういった時期に開催するのかその辺の腹案のようなものがあれば、お知らせください。</p>
事務局	<p>まず取り組むことにつきましては今までやっているものは継続していくという事と、新しいものについてはこれから検討するのですけれども、その中でまず前回もお話ししました、わかりやすくする取り組みとしましてバスマップというものがございます。それをまず 26 年度から取り組んでいきたいと思えます。その推進、またこの会議のあり方なんですけれども、市だけではなく、皆様のご意見等もいただいきたいと考えておりますので、進め方等、吉田先生とご相談させていただいて決めていきたいと思えます。会議につきましても開催時期が来ましたらお願いいたしますし、また必要に応じまして分科会等を設置する事も必要だと考えておりますので、その時にはまたよろしくお願ひします。</p>
座長	<p>計画書の 23 ページに書いてある施策 2-①あたりの事、イメージとしてバスマップが出てきたり、案内の掲示が出てきたりするんですが、ここが優先的に取り組む事業になっていきますので、まずはそういうところから検討に着手していくという事かと思えます。特に委員の皆様をお願いしていかなければいけないのは、私も含めてそうなんです、比較的バスに乗り慣れている人あるいは行政の方、バス事業者の方はわかってるなと思って、一足飛びでこういうサイ</p>

	<p>ンをつくったり、路線図をつくったりするケースがあるんですが、いざ市民の方が見るとなんじゃこりゃというケースって意外にあるんですね。だから、こういうような書かれ方をするとすごくよくわかる、こういう説明はちょっとわかりにくいとか、そういうあたりの事はけっこう皆様のご意見がすごく大事になってきますので、見やすくそしてわかるというようなもの、せっかくの機会ですから、つくっていく必要があると思いますので、そういった具体的な議論のところから来年度からスタートします。来年度といってもあと5日後なんですけど、4月以降スタートしていくということになると思いますので、引き続きご協力いただければというふうに思っております。</p> <p>それでは、最終会議というところで、前回である程度調整したところもありますので、比較的早く進行が進んでおりますけども、年度最後という事もございます。この際、ご発言しておきたいところがありましたら、いただきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。</p>
委員全員	(意見なし)
座長	<p>初めの第1回協議会が24年の10月9日でしたから、丸1年半かけまして計画の策定のところまでこぎつけたわけですが、今整理しました通り、まずわかりやすく見せるための方法論を具体的に考えていくところのミッションが次に私たちに課せられた事になってきたわけですが、一步一步着実にやっていかなければならない、これでようやくスタートラインに立ったという事ですから、これから逆に皆様の力を合わせていきながら、どれだけいいものができるかということが本当の勝負になっていくと思います。引き続きいろんな面でご意見をいただいたり、あるいはご協力いただく機会もあるかと思っておりますけれども、よろしくお願ひしたいというふうに思っています。</p> <p>それでは、私の方に預けられていた案件は以上です。進行を事務局にお返しします。どうもありがとうございました。</p>
事務局長	<p>吉田先生、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の4にあります、その他ということがございますけれども、報告事項をまず事務局からさせていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>皆様、いろいろと一昨年の10月から本当にお世話になりました。先ほども申し上げましたように、計画につきましては、ご意見等を踏まえ再度整理し、出来あがりしましたら、皆様にお送りしますので、よろしくお願ひいたします。また、協議会につきましても、先ほどお話ししましたが今後また継続してまい</p>

<p>座長</p>	<p>ります。いろいろお忙しいとか、もしあるようでしたら、ご相談いただければ調整等したいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それから、大きなところですけども、交通政策担当とございますが、平成23年の12月に出来ました。今度、組織の見直しによりまして、この4月から市民生活部ではなくなり、企画総務部の中の企画調整課の中の担当となります。これまで事務局長も市民生活部長が務めてまいりましたが、企画調整課長が務めるという事になりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からの報告は以上でございます。</p> <p>以上、事務局からの報告でございました。</p> <p>委員の皆様から連絡事項あるいは報告等がございましたら、この席でお願いしたいと思いますけども、いかがでしょうか。</p> <p>(連絡等なし)</p>
<p>事務局長</p>	<p>それでは、改めて本協議会につきましては事務局からご報告いたしました通り、策定いたしました計画の進行管理あるいは施策を実施していくためのこの協議会でございますが、継続をさせていただきたいというふうに考えております。</p> <p>吉田先生をはじめ委員の皆様にはお忙しい事と存じますけども、引き続きご理解ご協力のほどをお願い申しあげたいと思います。</p> <p>委員さんの任期といたしましては平成24年10月9日から2年間という事をお願いをしております。そういったことで委員さんとしての継続につきまして、また時期が参りましたならばご意向等はまたご確認をさせていただきたいというふうに思っております。</p> <p>それでは、以上で第5回の協議会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p><閉会></p>